



命を救う。命をつなぐ。  
CHIKAMORI  
HEALTHCARE GROUP  
近森病院

# 近森病院からの ホットライン

2020.12 Vol.202

発行：近森病院地域医療連携センター



形成外科

部長 杉田 直哉

かかりつけ医の先生方へ  
地域医療連携センターより  
形成外科 医師のご紹介

救肢  
のために!

CLI : Critical Limb Ischemia  
重症下肢虚血

の治療にも力をいれています!

**経歴**  
1996年 大阪医科大学卒業 (奈良県出身)  
1997年 大阪医科大学 形成外科初期研修  
1999年 新宮市民病院 形成外科  
2001年 城山病院 形成外科  
2004年 近森病院 着任

**専門分野**  
外傷 (顔面骨折、熱傷 etc)、  
慢性創傷 (難治性潰瘍、褥瘡 etc)  
レーザー

**専門資格**  
日本専門医機構 形成外科専門医  
日本形成外科学会 皮膚腫瘍外科分野指導医  
日本形成外科学会 小児形成外科分野指導医  
日本形成外科学会 領域指導医  
日本創傷外科学会 専門医

**趣味** お酒全般



高知県の近森病院に勤務して16年が経ちました。杉田直哉 (すぎたなおや) と申します。出身は奈良県です。1996年に大阪医科大学を卒業し、同大学の形成外科で2年間の初期研修を終え、和歌山県新宮市と大阪府羽曳野市の病院で形成外科医として計5年間勤務した後、2004年に近森病院へ赴任しました。

顔面の骨折や軟部組織損傷、熱傷などの急性期外傷、褥瘡や難治性潰瘍などの慢性創傷、皮膚・軟部組織の良性・悪性腫瘍の切除と再建、壊死性筋膜炎やガス壊疽などの重症皮膚軟部組織感染症、瘢痕拘縮やケロイド、レーザー治療など、地域医療に少しでも貢献できるよう、幅広く診療にあたっております。



あかまつ じゅん

部長 赤松 順

1984年 大阪医科大学 卒業

【専門分野】 頭蓋顔面形成外科、四肢形成再建外科、  
創傷外科及び皮膚外科

日本専門医機構 形成外科専門医 日本褥瘡学会 認定師・評議員  
日本創傷外科学会 専門医・評議員 大阪医科大学臨床教育教授  
日本形成外科学会 領域指導医 高知大学臨床教授  
日本形成外科学会 皮膚腫瘍外科分野指導医  
日本形成外科学会 小児形成外科分野指導医

形成外科へのご紹介は…

	月	火	水	木	金
午前	赤松 杉田			赤松 杉田	赤松

**赤松**：頭蓋顔面形成外科・四肢形成再建外科・創傷外科・皮膚外科

**杉田**：外傷・形成外科一般・慢性創傷レーザー

急性期から慢性創傷まで  
幅広く対応しています



088-822-5231 (代)

【緊急の紹介受診について】 ⇒ E R救命救急センターへ おつなぎします  
【翌日以降の紹介予約について】 ⇒ 地域医療連携センターへ おつなぎします  
【共同機器利用の予約について】 ⇒ 近森病院画像診断部へ おつなぎします

※混雑状況によりお待たせする場合がございます。何卒ご了承ください。



## 近森病院 形成外科

最近は創傷外科分野における治療ニーズが上昇しており、急性期創傷のみならず、基礎疾患を持った慢性期創傷や皮膚・軟部組織悪性腫瘍の増加が顕著です。

### ▼年次別入院患者総数と手術件数

	2015	2016	2017	2018	2019
入院手術	286	315	304	301	321
外来手術	260	236	207	291	291
合計係数※	416	433	407.5	446.5	466.5
入院患者総数	195	229	190	190	193

### ▼年次別手術件数の症例内訳

	2015	2016	2017	2018	2019
I. 外傷 (全身管理を要する 非手術例は含まず)	180	171	156	152	198
II. 先天異常	9	10	8	12	11
III. 腫瘍	149	152	134	169	158
IV. 癬痕・癬痕拘縮・ケロイド	25	18	14	24	22
V. 難治性潰瘍	104	118	120	125	157
VI. 炎症・変性疾患	23	34	26	22	25
VII. 美容(手術)	0	0	0	0	0
VIII. その他	14	23	34	47	21
Extra. レーザー治療	42	25	19	41	20
大分類 計	546	551	511	592	612

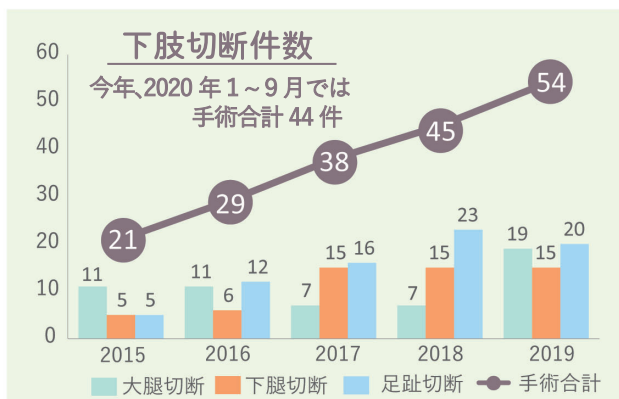
※合計係数…日本形成外科学会認定施設条件の手術件数 規定②の計算式によるもの

②「入院手術数(手技数)または全麻手術数(手技数)1例を係数1.0」、「局麻手術数(手技数)その他1例を係数0.5」とした場合の合計係数が年間200以上であること。(全麻手術とは、全身管理を要するもの)

## CLI : Critical Limb Ischemia 重症下肢虚血

近年、糖尿病と透析患者の増加から CLI の患者が全国的に増加しており、治療に難渋することが多く、高知県もその例外ではありません。

CLI に対しては集学的治療が必要不可欠です。当院では、他科、職種の垣根を超えたチーム医療で、救肢を目標に治療に当たっております。



血行再建

循環器内科

看護師  
薬剤師

リスク管理

糖尿病内科、腎臓内科

理学療法士  
管理栄養士

創傷治療

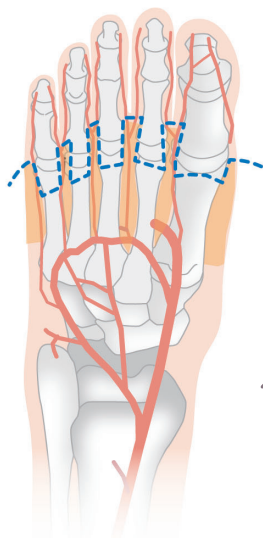
形成外科

臨床検査技師



また、CLI カンファレンスを定期開催し、患者の情報共有や治療プランの早期策定などを行っております。

## modified TMA 横断的中足骨切断



当科では modified TMA (横断的中足骨切断) を積極的に選択するようになっております。

大切断をした患者は歩行機能が低下し予後も悪化します。CLI の患者では、歩行維持率(切断後歩行可能 / 切断前歩行可能)が

**大腿切断 0%、  
下腿切断 33%、  
TMA86%**

と報告されています<sup>1)</sup>

1) 辻 依子, 寺師浩人, 田原真也: 重症下肢虚血患者における下肢切断レベルによる歩行機能への影響. 日形会誌, 2020; 30: 670-7

木村Dr.



足の創傷の初期治療から切断手術まですべて対応しておりますので、治療にお困りの症例がございましたらお気軽にご紹介ください。